

補足説明資料

(1) 協定の背景および経緯

京都大学では、ゲリラ豪雨を過去から経験しているカセサート大学（タイ）と研究連携し、共同で現地調査、観測対策を進めるとともに、コンクリート構造物のライフサイクルマネジメントシステムの構築や時間変化を考慮した信頼性評価技術を確立するなど NEXCO 西日本が求める技術を保有しており、今回協定を締結することとしました。

(2) 連携内容

① 人材の交流および情報・設備の相互活用

- ・ 連携・協力を積極的に推進のため、京都大学の研究者と NEXCO 西日本の技術者間の交流を図るとともに、人材の養成や両者が保有する情報・設備の相補的活用を行います。

② 共同研究の実施

- ・ ゲリラ豪雨による地すべり、斜面崩壊などの災害発生メカニズムの研究
- ・ コンクリートの剥離・剥落メカニズムの研究
- ・ コンクリートの劣化度診断技術や劣化対策工法の研究

【その他 NEXCO 西日本と大学間の協定】

締結日	大学	主な共同研究項目
平成 20 年 3 月 31 日	大阪大学 大学院工学 研究科	・蓄積した点検データを活用した床版コンクリート剥離・剥落の統計分析 ・安心して走行できる橋梁耐力の評価技術に関する研究
平成 21 年 9 月 29 日締結予定	九州大学	・構造物の耐久性・耐震性向上とその評価技術 ・気象・環境状況に対応した高速道路の新技術